

都島区将来ビジョン2030 概要版

～みんなで未来をひらくまち～

「安全・安心のまち、人がつながり・いきいきと暮らせるまち、子どもが輝くまち、明日に誇れるまち」の実現

区将来ビジョンとは

区長が区内の基礎自治行政を総合的に推進していく上で、地域としての区のめざすべき将来像、その実現に向けた施策展開の方向性などをとりまとめ、区民の皆さんに明らかにするものです。

めざすべき将来像

「安全・安心のまち、人がつながり・いきいきと暮らせるまち、子どもが輝くまち、明日に誇れるまち」の実現

計画期間

概ね5年とし、2026年度から2030年度末までの、施策展開の方向性などをお示ししています。

区将来ビジョン

2026 - 2030

区運営方針

2026 2027 2028 2029 2030

区将来ビジョンの単年度のアクションプランとして、区運営方針を毎年度策定します。

「めざすべき将来像」を実現するための4つの柱



めざすべき将来像（各取組）

安全
安心の
まち

1 安全・安心のまち



1-1 防災のまちづくり

全区民が災害の備えをし、助け合って避難行動できる状態。

1-2 防犯のまちづくり

全区民が防犯を意識し、犯罪を抑止する環境が整っている状態。

1-3 安全で美しいまちづくり

ごみのポイ捨てや放置自転車が減少し、環境に優しく、誰もが安全に通行ができる状態。

子どもが
輝くまち

3 子どもが輝くまち



3-1 安心して子育てできるまちづくり

授乳や育児について相談しやすい環境が整い、育児不安が解消され、いきいきと健康に暮らせる状態。子どもや子育て世帯がライフステージに応じた支援を受けることで、子どもの笑顔が輝き、子育てに伴う喜びが実感できる状態。

3-2 未来社会を担う人材育成

経済状況や家庭環境に左右されることなく、すべての子どもが将来の夢や目標をもち、未来社会を担う人材が育成される状態。

人がつながり
いきいきと
暮らせるまち

2 人がつながり・いきいきと暮らせるまち



2-1 コミュニティ豊かなまちづくり

これまで培われてきた人と人との「つながり」や「きずな」を礎にしながら、新たな生活様式を踏まえつつ、あらゆる世代が生涯学習や地域活動への参加・参画による「まなび」を通してつながりを育成し、持続的に地域コミュニティが活性している状態。

2-2 いきいきと健康に暮らせる福祉のまちづくり

地域に福祉の身近な相談窓口があり、地域住民がお互いに見守り活動を行うことにより、安心して生活できる状態。また、区民がいきいきと健康で生活することができる状態。

明日に
誇れる
まち

4 明日に誇れるまち



4-1 にぎわいと魅力あるまちづくり

三方を川に囲まれた都島区の恵まれた自然環境、立地、歴史・文化、産業などの特色を活かした地域の活性化が図られ、まちのにぎわいと魅力が高まり、区民が誇りを持ち、住み続けたいと思うとともに、多くの人々が訪れたい、住みたいと思う状態。

4-2 区の魅力創出・発信

さまざまな媒体を通して、暮らしに関する情報や都島区の魅力を発信し、区内外に届けることで区民や来街者等が関心を持ち、都市イメージの向上が図られている状態。

